

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	統括部局：キャリアセンター	担当部局：キャリアセンター
大項目	8 学生支援（研究科）《全学的な視点》	
中項目		
小項目	8.0.4 学生の進路支援は適切に行われているか。	
要素	進路選択に関わる指導・ガイダンスの実施	
	キャリア支援に関する組織体制の整備	
	キャリア教育の適切性	

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 文系研究科（博士課程前期課程、修士課程）修了者の就職率を77%以上とする	→就職率・・・分母は「就職希望者」ではなく、「修了者」である。具体的には（就職決定者+自営）÷（修了者-進学決定者）	C	C	C	B	/
2. 大学院学生のみを対象とするインターンシップに毎年1名以上派遣する	→受け入れ側が選抜を行う大学院学生対象インターンシップへの派遣	C	C	A	A	/
3. 大学院学生のみを対象としたプログラムの増加（2009年度は3件） （2013年度以降に設定が予定されている文理融合型の研究科横断的枠組みの準備として）	→大学院学生のみ対象のプログラム・・・2009年度は3件；「文系大学院生対象就職セミナー」「社会演習（インターンシップ）」「理系院生の就職活動の始め方と心構え」	B	B	B	B	/

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	文系研究科（博士課程前期課程）の就職率は71.4%であった。
目標2	2012年度は、大学院「社会実習（インターンシップ）」で三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社へ1名派遣した。
目標3	大学院生だけのプログラムは理系の第1回ガイダンスを実施している。2013年度へ向けて理工学部と更に連携を深めながら理系学生・院生を含めたプログラム展開を図っていく。
備考	